

第2期坂出市
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

骨子案

骨子案の全体構成

1. 基本的な考え方
2. 基本目標と施策体系
3. 次期総合戦略の内容の骨子（案）

【施策体系および骨子案の見方】

現行の総合戦略から変更・削除，または新たに設けた【施策の基本的な方向】，および【具体的な事業】の修正箇所については赤字で表記し，削除した文言はカッコ書きとする。

【骨子案の具体的な事業について】

各基本目標を達成するための具体的な事業については，新規・継続の各事業のうち主なものを挙げており，取り組む事業のすべてについて列挙しているものではない。

1. 基本的な考え方

1. 第2期坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

令和元年度が現行の総合戦略（平成27年10月策定）の対象期間の最終年度にあたることから、引き続き人口減少の克服と地域活力の向上に向け、第2期の総合戦略の策定を行うものである。

2. 第2期総合戦略の対象期間

令和2年度から令和6年度を対象とする。

現行の総合戦略の対象期間は平成27年度～平成31年度（令和元年度）の5年間であり、引き続き、5年間を対象期間として定める。なお、本市の最上位の方針である坂出市まちづくり基本構想の対象期間は令和7年度までとなっている。

3. 第2期総合戦略策定の考え方

現行の総合戦略を基本としながら、第1期総合戦略の成果と現状を踏まえ、さらに社会環境等の変化も考慮し、本市の実情と課題に対応した戦略を策定する。

3つの基本目標および基本的方向を維持しながら、具体的な施策、事業については追加、変更を行うものとする。

4. 第2期総合戦略策定の工程

近い将来子育て世代となる市内4校の生徒のうち、本市在住の高校生を対象としたワークショップを開催し、若者世代の意見の把握を図りながら、坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において審議した後、パブリックコメントを実施し広く住民からの意見聴取を行い、策定する。

5. 現行の総合戦略の検証

(1) 基本目標ごとのKPI達成状況

基本目標1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

(1) まちの活性化と生活環境の向上

①瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用

瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用					
KPI 重要業績 評価指標	KPI	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)	
	坂出北インターチェンジのフルインター化	フルインター化が、国土交通省の事業採択により決定、令和6年度からの供用開始を予定			—
	フルインター化に伴う企業誘致件数	3件 (新規)	—	—	
	坂出駅北口駅前広場の再整備	令和5年度までの整備に向けて、用地買収を進めている			—
	学園通りの整備	—			
	JR坂出駅の1日あたり乗車人員	平成31年度に5,500人	5,355人	97.4	
	企業立地促進助成金を利用した市内新規常用雇員数	5年間で100名 (平成27~31年度の累計)	54名 (平成27~30年度の累計)	54.0	

②都市の整備と地域公共交通の利便性向上

都市の整備と地域公共交通の利便性向上				
KPI 重要業績 評価指標	KPI	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	循環バスの利用者数	平成31年度に52,700人	58,813人	111.6
デマンド型乗合タクシーの利用者数	平成31年度に3,900人	3,871人	99.3	

③社会資本の維持管理と既存公共施設の利活用

社会資本の維持管理と既存公共施設の利活用					
K P I 重要業績 評価指標	K P I		目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	市道における橋梁の補修箇所数		5年間で41橋 (平成27~31年度の累計)	16橋	39.0
	王越宿泊型野外活動施設「交流の里おうごし」の利用者数		平成31年度に2,000人(新規)	3,636人	181.8

(2) 坂出の魅力発信とファンづくり

坂出の魅力発信とファンづくり					
K P I 重要業績 評価指標	K P I		目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	まちあるき事業のツアー参加者数		平成31年度に650人	758人	116.6
	市ホームページ全体のアクセス数		平成31年度に660,000アクセス	733,512アクセス	111.1
	ふる 応援 さと 坂出	寄付件数	平成31年度に4,000件	6,926件	173.2
		寄付金額	平成31年度に80,000千円	119,050千円	148.8
さかいでブランド認定品の返礼件数		平成31年度に700件	594件	84.9	

(3) 移住・定住の促進

① 移住の促進

移住の促進				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	新婚世帯家賃補助事業を利用した市外からの移住者数	毎年度 150 人	72 人	48.0
	香川県空き家バンクサイトに登録されている市内物件数	平成 31 年度に 20 件	9 件	45.0
	まちなか中高層共同住宅建設促進事業補助金を利用した建設戸数	平成 31 年度に 50 戸 (新規)	0 戸	0.0

② 若者の定住促進

若者の定住促進				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	就職フェア参加者のうち市内企業への就職者数	5 年間で 15 名 (平成 27~31 年度の累計)	令和 2 年 2 月頃 調査予定	—
	ハローワーク坂出の有効求人倍率	平成 31 年度に 1.40	2.21	157.9

(4) 交流人口の拡大

① 観光を軸にした交流人口の拡大

観光を軸にした交流人口の拡大				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	瀬戸内国際芸術祭 2016 の沙弥島会場の来場者数	78,000 人	—	—
	観光入込客数	平成 31 年度に 4,900,000 人	4,480,272 人	91.4

②特色を生かした地域づくり

特色を生かした地域づくり				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	讃岐国府跡調 査報告会来場 者数	毎年度 150人	90人	60.0
	にぎわい創出 事業を契機に 定着した事業 数	5年間で7件 (平成27～31 年度の累計)	6件(平成27～ 30年度の累計)	85.7

基本目標 2 子育て世代に選ばれるまちづくり

(1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

結婚・妊娠期からの切れ目ない支援					
K P I 重要業績 評価指標	K P I		目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	1歳6か月児健康診査受診率		平成31年度に97%	98.9%	102.0
	3歳児健康診査受診率		平成31年度に94%	97.5%	103.7
	ブックスタートの利用率		平成31年度に100%	100%	100.0

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

安心して子どもを産み育てられる環境づくり					
K P I 重要業績 評価指標	K P I		目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	育てろっ子支援センター(さかい)において子育て支援事業利用者数	地域子育て支援拠点利用者数	平成31年度に9,000人	9,646人	107.2
		一時預かり事業利用者数	平成31年度に延べ200人(新規)	421人	210.5
		利用者支援事業利用者数	平成31年度に400人	361人	90.3

(3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

未来を拓く力をはぐくむ人づくり				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	さかいで-なかたど-うたづ算数・数学オリンピックの参加者数	平成 31 年度に 230 人	239 人	103.9
	図書館出前授業の参加人数	平成 31 年度に 300 人	925 人	308.3
	カヌー研修センターの利用者数	平成 31 年度に 15,500 人	17,826 人	115.0

(4) 女性や高齢者が活躍できる環境の整備

女性や高齢者が活躍できる環境の整備				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	審議会等における女性委員の割合	平成 31 年度に 30%	17.2%	57.3
	市の係長級以上の女性職員の割合	平成 31 年度に 30%	31.8%	106.0
	女性消防団員数	平成 31 年度に 30 名	26 名	86.7
認知症サポーター登録者数	平成 31 年度に 5,000 人	3,838 人	76.8	

基本目標 3 安心して暮らしやすいまちづくり

(1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保

① 企業立地の促進と競争力強化の支援

企業立地の促進と競争力強化の支援				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	企業立地促進 助成金利用件 数	5年間で15件 (平成27～31 年度の累計)	10件(平成26 ～30年度)	66.7
	特許取得促進 事業補助金利 用件数	5年間で3件 (平成27～31年 度の累計)	1件(平成27～ 31年度)	33.3
	高校生徒資格 取得費補助金 の利用者数	平成31年度に 300名	245名	81.7

② 魅力ある農林水産物づくりと地域ブランドの展開

企業立地の促進と競争力強化の支援				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	「瀬戸内あわ び」の出荷額	平成31年度に 2,000万円 (新規)	—	—

(2) さらなる市民共働の推進

さらなる市民共働の推進				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	出前市役所の 回数	平成31年度に 50回	52回	104.0
	自治会活動保 険補助金の補 助件数	平成31年度に 60件	42件	70.0
	図書館支援ボ ランティアの 人数	平成31年度に 100人	74人	74.0
ラジオ体操普 及拠点数(ミニ 広場を含む。)	平成31年度に 8か所	7か所	87.5	

(3) 保健・医療・介護・福祉の充実

保健・医療・介護・福祉の充実				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	がん検診受診率	平成 31 年度に 50%	胃がん : 4.1% 大腸がん : 14.2% 肺がん : 17.6% 子宮頸がん : 14.0% 乳がん : 17.2%	8.2% 28.4% 35.2% 28.0% 34.4%
	特定健康診査受診率	平成 31 年度に 80%	36.6%	45.8
	地域ケア会議の開催回数	平成 31 年度に 29 回	62 回	213.8
	生活支援コーディネーターの設置人数	平成 31 年度に 13 人 (新規)	1 法人	7.7

(4) 災害・防災対策の強化

災害・防災対策の強化				
K P I 重要業績 評価指標	K P I	目標値 (H31)	現状値 (H30)	達成度 (%)
	自主防災組織カバー率	平成 31 年度に 100%	100%	100.0
	防災士資格取得補助金利用人数	毎年度 10 人	9 人	90.0
	民間住宅耐震対策支援事業を利用した耐震診断件数	平成 31 年度に 25 件	14 件	56.0
	民間住宅耐震対策支援事業を利用した耐震改修件数	平成 31 年度に 15 件	10 件	66.7

(2) 基本目標の目標値の達成状況

基本目標1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

坂出北インターチェンジのフルインター化など本市のポテンシャルを活用したまちづくりを推進し、移住・定住施策に取り組むとともに、本市の特色を生かした交流人口の拡大を図り、若者等の市内への移住・定住を促進します。

数値目標である転入者数は、平成29年(1,977人)、平成30年(1,911人)と目標値である1,900人を上回っており、策定時に比べ100人以上増加している。また、転入者を対象としたアンケート結果によると、平成30年度の県外から本市への移住数は232人であり、県内では高松市に次ぐ転入者数であったことから、移住施策については一定の効果があったものと考えられる。

転入前住所地(平成29年次)による比較では、香川県内の他自治体からの転入者数976人(49.3%)に次いで、国外からの転入者数が254人(12.8%)となっており、外国人の転入が増加傾向である。

基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

結婚・妊娠・出産・子育てにおける支援を切れ目なく実施し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、教育環境の整備・充実を図り、子育て世代に選ばれるまちづくりを推進します。

数値目標である「平成25年～平成29年の合計特殊出生率」は、令和2年2月頃に香川県が発表を予定しており、現時点では達成状況の確認はできない。

出生数については、平成27年には400人を超えたが、その後は減少傾向で推移しており、平成30年は303人となっている。これは、子育て世代である20代・30代の常住人口の減少が要因

と考えられる。

基本目標3 安心して暮らしやすいまちづくり

企業誘致や産業振興等により，地域経済の発展や雇用機会の拡大を図るとともに，さらなる市民共働の推進，保健・医療・介護・福祉の充実，また災害・防災対策の強化に努め，安心して暮らしやすい環境をつくりま

す。

数値目標である転出者数は，平成29年は1,966人，平成30年には1,956人となっており，策定時点での数値（平成26年 1,956人）と同程度の水準で推移している。

社会増減は，平成29年には11人の増加となるなど，転出超過の傾向には一定の歯止めがかかりつつあると考えられる。

転出後住所地（平成29年次）による比較では，香川県内の他自治体への転出者数1,000人（50.9％）に次いで，国外への転出者数が185人（9.4％）となっており，高い割合を示している。

(3) 人口動態の状況

坂出市の年齢別常住人口 (各年10月1日時点 単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総数	53,484	53,164	52,551	52,160	51,620
0～9歳	4,074	3,941	3,864	3,842	3,730
10～19歳	4,708	4,498	4,523	4,536	4,511
20～29歳	4,027	4,148	3,997	3,911	3,837
30～39歳	5,834	5,584	5,302	5,157	4,996
40～49歳	6,746	6,831	6,997	7,017	7,035
50～59歳	6,154	6,034	5,788	5,725	5,686
60歳以上	21,941	22,128	22,080	21,972	21,825

「香川県人口移動調査、平成27年のみ国勢調査の数値」

人口動態 (単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
人口増減	▲ 597	▲ 469	▲ 576	▲ 425	▲ 548	
自然動態	▲ 422	▲ 342	▲ 438	▲ 436	▲ 503	
内訳	出生	356	403	352	351	303
	死亡	778	745	790	787	806
社会動態	▲ 175	▲ 127	▲ 138	11	▲ 45	
内訳	転入	1,781	1,806	1,779	1,977	1,911
	転出	1,956	1,933	1,917	1,966	1,956

「香川県人口移動調査、平成27年のみ国勢調査の数値」

他市の社会動態 (単位：人・%)

	平成28年	平成29年	平成30年	3年間平均
高松市	590(1.4)	660(1.6)	198(0.5)	483(1.2)
丸亀市	204(1.9)	274(2.5)	▲ 31(▲ 0.3)	149(1.4)
坂出市	▲ 138(▲ 2.6)	11(0.2)	▲ 45(▲ 0.9)	▲ 57(▲ 1.1)
善通寺市	▲ 105(▲ 3.2)	▲ 38(▲ 1.2)	188(5.8)	15(0.5)
観音寺市	▲ 172(▲ 2.9)	▲ 80(▲ 1.4)	▲ 194(▲ 3.4)	▲ 149(▲ 2.6)
さぬき市	▲ 240(▲ 4.8)	▲ 333(▲ 6.8)	▲ 182(▲ 3.8)	▲ 252(▲ 5.1)
東かがわ市	▲ 45(▲ 1.5)	▲ 175(▲ 5.8)	▲ 189(▲ 6.4)	▲ 136(▲ 4.6)
三豊市	▲ 52(▲ 0.8)	▲ 166(▲ 2.6)	▲ 125(▲ 2.0)	▲ 114(▲ 1.8)

() は増減率

6. 高校生ワークショップの提言

【開催概要】

市内在住の高校生16名に、本市に住み続けたい、あるいは進学等の理由で転出した後、就職等をきっかけに本市に戻りたいと思えるまちづくりについて、グループワークを通じ、総合戦略推進会議に対する提言を得た。さらに、坂出市民サービスセンターの今後の利活用についても、同様に意見交換を行ったところである。

なお、ワークショップには香川大学工学部の学生4名も参加した。

どうしたら坂出市を離れなくてすむ、あるいはどうしたら坂出市を離れても戻りたくなるか

《まちに行きたい》

- ・ 商店街に、全国チェーンのカフェの出店
- ・ 近隣地域にない大型商業施設の出店
- ・ 観光客を呼び込むため、商店街にうどんの食べ比べができるような、うどん屋の集積スポットの設置
- ・ 中心市街地に娯楽施設の誘致（映画館やカフェなど）
- ・ 観光客が泊まれる宿泊施設が必要

《学びたい、働きたい》

- ・ 進学先・就職先の確保（駅周辺への大学誘致）
- ・ 多様な学部に通学できるよう、大学の学部の充実
- ・ 福祉施設で働く人について、人員数や給料面での待遇向上
- ・ 蔵書冊数を増やす等、図書館の充実

《“地元”を好きになりたい》

- ・ 祭りなど、郷土愛を感じられる機会の創出
- ・ 地元への親近感を持たせるような、市民のイベントづくりへの参加促進
- ・ 他の学校の生徒とコミュニケーションが図れる場所の設置
- ・ 交通利便性の向上（島しょ部など）
- ・ バリアフリーを考えた公共交通機関及び、電車の増便
- ・ おしゃれできれいな街並みや、海辺で過ごせる空間の創造

2. 基本目標と施策体系（案）

働きたい
住みたい
子育てしたい
まちの創造

基本目標 1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

《施策の基本的方向》

- (1) まちの活性化と生活環境の向上
- (2) 坂出の魅力発信（とファンづくり）
- (3) 移住・定住の促進
- (4) 交流人口の拡大と関係人口の創出

基本目標 2 子育て世代に選ばれるまちづくり

《施策の基本的方向》

- (1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援
- (2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- (3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり
- (4) 誰もが活躍できる環境の整備

基本目標 3 安心して暮らしやすいまちづくり

《施策の基本的方向》

- (1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保
- (2) さらなる市民共働の推進
- (3) 健幸のまちづくりの推進
- (4) 災害・防災対策の強化と持続可能な地域づくり

3. 次期総合戦略の内容の骨子（案）

基本目標 1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

《施策の基本的方向》

（1）まちの活性化と生活環境の向上

坂出北インターチェンジのフルインター化や、坂出ニューポートプランへの取組による「重要港湾」坂出港の有効活用等、本市の地理的優位性を最大限に生かす施策を推進することにより、令和新時代における本市のプレゼンスを高め、産業面や観光面で他地域に劣らないにぎわいのあるまちを創る。

また、既存の公共用地・公共施設や坂出緩衝緑地の利活用により、県内屈指の利便性を誇る坂出駅を中心とする、まちなかのにぎわいづくりに取り組むとともに、主要な都市機能が集積する中心市街地の交通利便性の向上を図る。

【具体的な事業（例）】

- ・坂出駅を中心とした文教ゾーンの再編整備
- ・企業立地促進助成金
- ・循環バス運行支援事業
- ・市立病院跡地の利活用
- ・坂出市民サービスセンターの利活用
- ・坂出緩衝緑地の整備
- ・王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」の運営

（2）坂出の魅力発信

本市の豊かな地域資源等を、各種広報媒体やイベント開催時などの様々な機会を捉えて県内外に情報発信し、坂出の良さの見える化を推進する。

【具体的な事業（例）】

- ・まちあるき事業
- ・さかいでブランド認定制度

(3) 移住・定住の促進

新婚世帯・移住世帯への経済的支援により移住・定住を促進する。
また、U J I ターン就職を推進するなど、地域活力の担い手となる若い世代の労働力を確保する。

【具体的な事業（例）】

- ・新婚世帯家賃補助事業
- ・移住世帯家賃等補助事業
- ・坂出市移住促進・空き家改修等補助金
- ・U J I ターン職員採用
- ・企業訪問バスツアー
- ・就職フェア

(4) 交流人口の拡大と **関係人口の創出**

市民との共働による瀬戸内国際芸術祭の取組を進めるなど、本市の魅力を外にアピールするとともに、域外の人材を活用した関係人口の創出について、関係機関と連携して取り組む。

また、歴史的遺産である讃岐国府跡等の地域資源を活用したにぎわいづくりに努める。

【具体的な事業（例）】

- ・演劇大学 in さかいで
- ・カヌーのまち さかいで推進事業
- ・ **関係人口の創出**
- ・ **讃岐国府跡保存活用事業**

基本目標 2 子育て世代に選ばれるまちづくり

《施策の基本的方向》

(1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

婚活支援に継続して取り組んでいく。また、子育て世代包括支援センターの充実を図り、妊娠・出産・子育てに関する正しい情報の提供に努め、妊娠期、出産期、乳幼児期の育児などにおける不安や悩みを軽減する。

さらに、子育て世代の経済的負担の軽減を図る事業に継続して取り組む。

【具体的な事業（例）】

- ・婚活支援事業
- ・坂出市子育て世代包括支援センター
- ・定期健診未受診者全員へのフォローアップ
- ・子育てに関する情報提供の充実
- ・出産祝金及び乳児紙おむつ支給事業

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

子育てにおける不安や孤立感の解消のため、相談・援助活動の充実を図るとともに、地域の身近な場所での親子の交流や育児支援、育児に関する情報提供、子育ての相互援助活動を推進する。

【具体的な事業（例）】

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・さかいで子育て支援センター（まるっ子ひろば）の運営
- ・ファミリー・サポートセンター事業

(3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

特色ある学校教育と、時代の趨勢を捉えた教育環境の整備を行うとともに、スポーツや野外活動を通じた生きる力をはぐくむ拠点の活用を推進する。

【具体的な事業（例）】

- ・ 学校のICT環境整備事業
- ・ カヌーのまち さかいで推進事業（再掲）
- ・ 王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」の運営（再掲）

(4) 誰もが活躍できる環境の整備

生産年齢人口の減少が続く中、女性や高齢者、外国人等、誰もが個性と能力を発揮し活躍できる環境を整備する。

【具体的な事業（例）】

- ・ 女性の活躍推進事業
- ・ 日本語教室の開催

基本目標 3 安心して暮らしやすいまちづくり

《施策の基本的方向》

(1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保

市内企業への就職を促進することにより、定住者数の増加と地域産業の振興を図るとともに、中小企業等の振興施策を総合的かつ計画的に実施するための方向性を定め、地域産業の発展に取り組む。

また、地域の特産品の育成と振興に努め、効果的な情報発信を通じてブランド力の向上に向けた取組を推進する。

【具体的な事業（例）】

- ・ 企業立地促進助成金（再掲）
- ・ 高校生徒資格取得費補助金
- ・ 特許取得促進事業
- ・ ふるさと坂出応援寄付
- ・ さかいでブランド認定制度（再掲）

(2) さらなる市民共働の推進

市政に対する市民の理解と関心を深め、さらなる市民共働を推進する。

また、市内の特色ある4高等学校との共働や、協定を締結している大学・短期大学との連携により、若者の市政への参画を促進する。

【具体的な事業（例）】

- ・ 坂出市政出前講座
- ・ 連携協定による大学・短期大学との共働

(3) 健幸のまちづくりの推進

住民が健やかに幸せに暮らせるまちの実現を目指し、医療・介護・

健康関連事業の相互連携を図る「健幸のまちづくり」に取り組む。

【具体的な事業（例）】

- ・がん検診・特定健診等の推進事業
- ・健康遊具の設置
- ・ラジオ体操普及事業
- ・認知症対策の推進
- ・介護予防事業の推進
- ・就労準備支援事業
- ・生活支援体制整備事業（坂出ささえまろネットワーク）

（４）災害・防災対策の強化と持続可能な地域づくり

「国土強靱化地域計画」を策定し、地域における防災・減災に取り組み、災害に強いまちづくりを推進するとともに、防災・危機管理の中核を担う人材を育成する。

またクリーンエネルギーの利用を推進することにより市民の環境保全意識の高揚を図り、地球温暖化防止に寄与するとともに、より減災効果の高い住環境整備を促進する。

【具体的な事業（例）】

- ・民間住宅耐震対策支援事業
- ・民間危険ブロック塀等撤去補助事業
- ・住宅用太陽光発電システム等設置事業補助金